

教科	理科	科目（単位数）	生物（4）	学年	3	類型	理系
学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	第2部 生殖と発生	・動物と植物の生殖方法について理解できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間 ～期末考査	第2部 生殖と発生	・動物と植物の発生について、遺伝子の発現と関連づけて理解することができる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末 ～2学期 中間考査	第3部 生物の環境応答	・動物や植物が刺激を受容し、それに適した反応を示す過程を理解できる。 ・動物の行動について理解できる。 ・植物の環境応答におけるホルモンの役割を理解できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間 ～期末考査	第4部 生物の進化と系統 第5部 生態と環境	・地球の誕生から現在に至るまでの生物の進化の過程を理解できる。 ・生物の系統に基づいた分類について理解できる。 ・生態系では生物の質・量的なバランスが維持されていることを理解できる。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末 ～3学期 学年末考査	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
3学期 学年末考査 ～年度末	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	「生物基礎」「生物」啓林館 「フォトサイエンス 生物図録」数研出版 「ニューグローバル 生物基礎+生物」東京書籍 「チェック&演習 生物」数研出版						
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み						